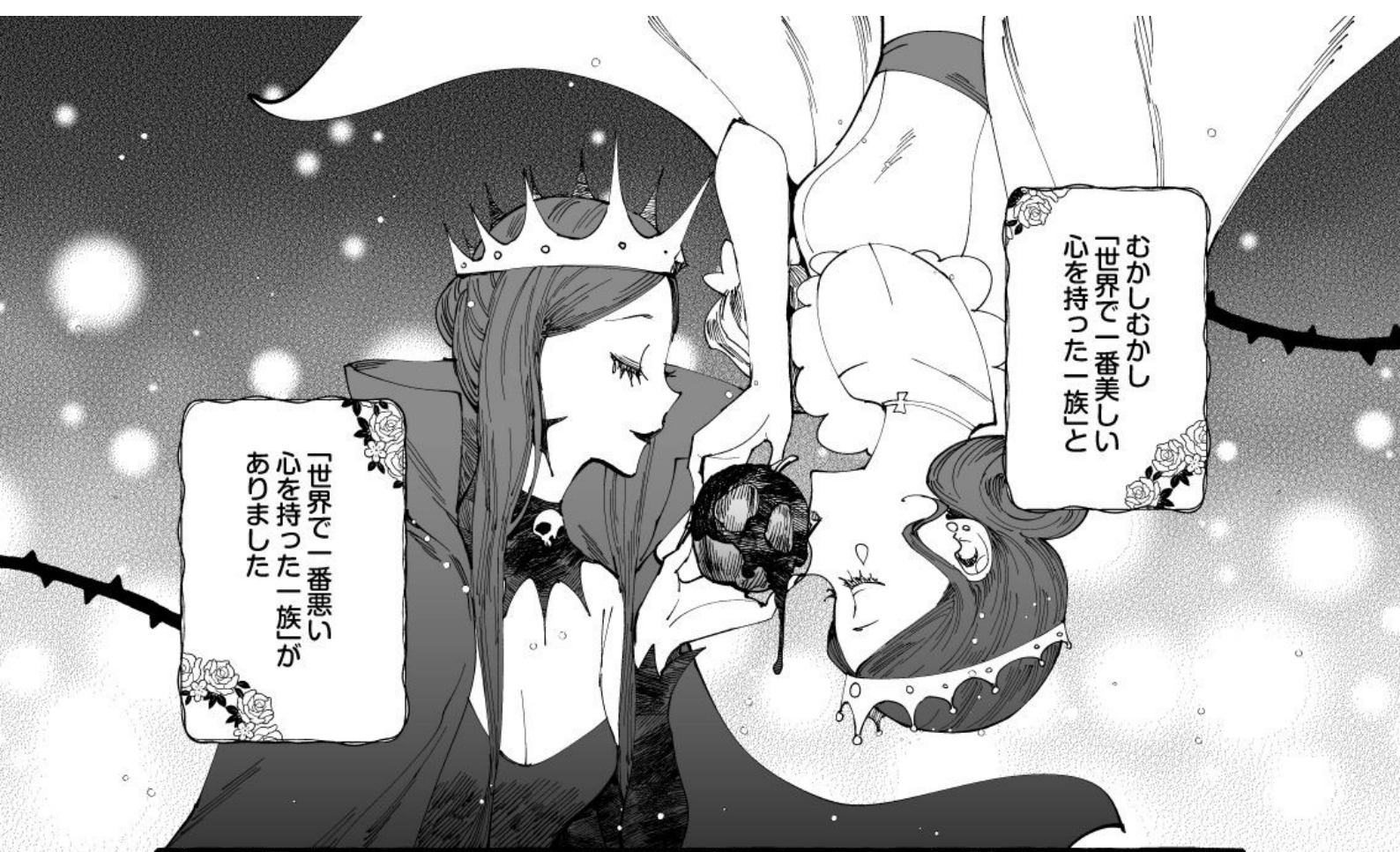






むかしむかし
「世界で一番美しい
心を持った一族」と

「世界で一番悪い
心を持った一族が
ありました」



美しい心を持った一族の祖先は
黒壇の様に黒い髪に
雪の様に白い肌、燃える薔薇の様に
赤い唇を持った白雪姫

悪い心を持った一族の祖先は
かつて白雪姫に毒を盛った
嫉妬深い継母が密かに
他所にもうけた隠し子

縁あって
それぞれを
祖先に持つ
二人が結ばれ

おとぎの国に
悠久の平穏が
訪れたかの様に
思えましたが…



女王陛下が
ご乱心だ

110
#



はははは
はははは

世界で一番
美しい一族も
これで終わり…
他愛もない!!



この世に美は
2つと要らぬ

やはり私こそが
世界で一番
美しいのよオ



まさか余の妻が
悪しき心に
飲み込まれて
しまうとは…

白雪王(43)
マルガリーテス・フォン・ヴァルデック



何としても
姫様と陛下を
お護りしろオ

許してくれ…
マルグリット…

うわあああ

父上…
もう時間が
ありません!!

いいえ…
父上のせいでは
ありませんわ…

母上は完全に
正気を失って
しまいました

このままでは
一族全員が
抹殺されて
しまいます…

15代目白雪姫(17)

マルグリット・フォン・ヴァルデック

これを…

毒



複数人でいると
目立って
しまいます…



しかしお前は
どうするのだ…
共に逃げぬのか



これを食べれば
一時的に
仮死状態になり

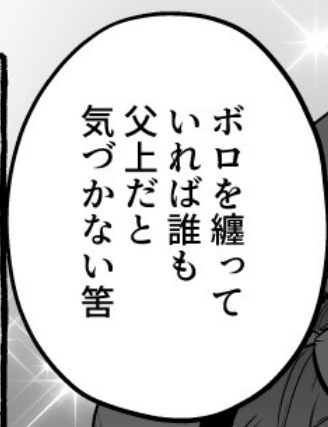
万が一
母上に見つかっても
殺されずに済みます



しや



必要な物は
船に積んで
おきましたから
数日は持つでしょう



ボロを纏って
いれば誰も
父上だと
気づかない筈



さあ
父上も早く…



いたぞ
雪白だ!!

我が一族の…

為に……

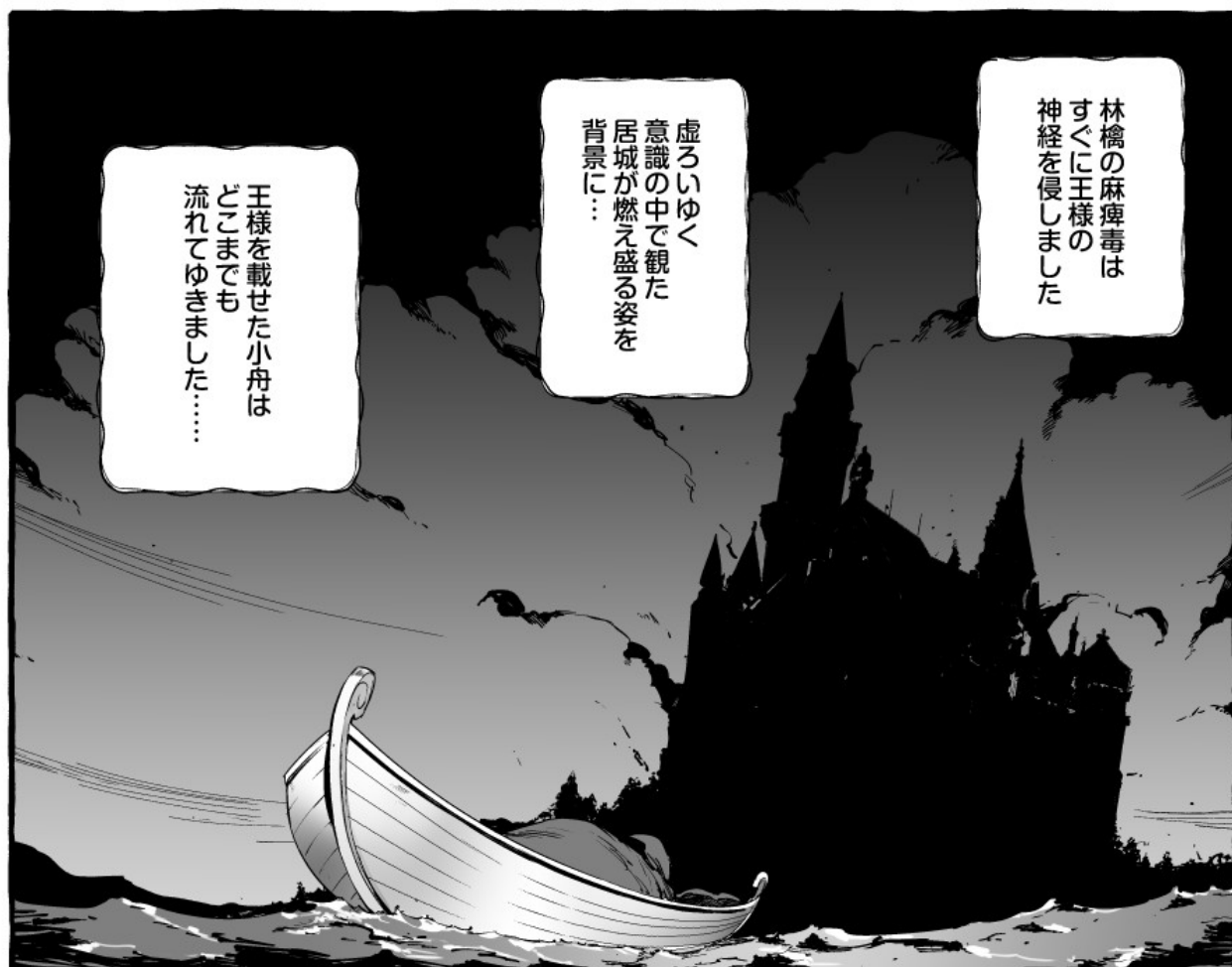
捕らえろ



父上…必ず生きて…
生き延びて
下さいませ…



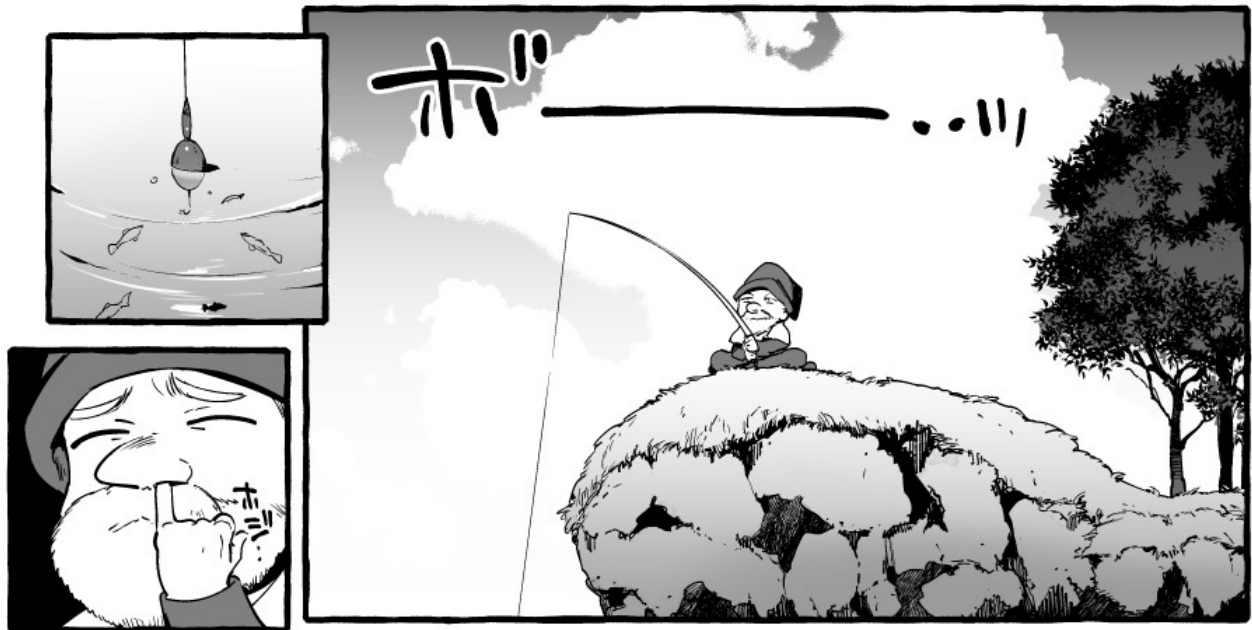
マルグ
リット

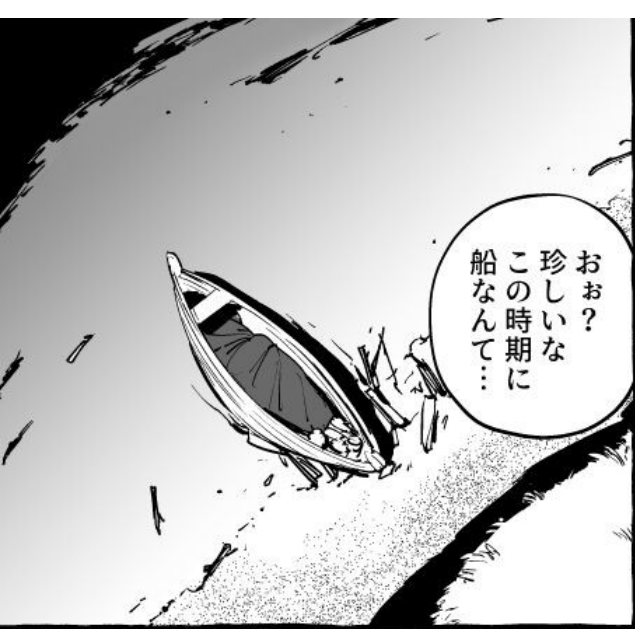


林檎の麻痺毒は
すぐに王様の
神経を侵しました

虚ろいゆく
意識の中で見た
居城が燃え盛る姿を
背景に…

王様を載せた小舟は
どこまでも
流れてゆきました……





おお？
珍しいな
この時期に
船なんて…



つい欲望を
叫んじまった

いっけね
魚が逃げちまう



ちよいと
お邪魔
しますよ

よッくら
セックス



ズー…



眩しッ

何だこの
輝きは…!?

お…
お前ら
ドえらい
モン
見つけた





林檎に含まれた毒の
副作用で若返った王様は
それはそれは美しい姿を
していました

これでは
妃が嫉妬するの
も無理がありません

その美貌に童貞達の
長年蓄積された劣情は
ひどく掻き立てられるの
でした…



真っ白で
キレイな
肌やなあ…
髪の毛も
アゲツヤで

ホー♡
それにあの唇
紅引いてる
みたいだ…

リーダー格の
小人「オイ」が
言いました

き……キツス
したら…目エ
覚めんじやね？



ちよつと触る
くらいなら…
なあ？

ま……まあ
こんだけべつびんなら
女にちんぽ生えてる様な
もんだべや…

ちよつと違つた
けど…



ウオオ
女モンの
下着じゃあ



「オイラの発言で
小人達の理性の箍は
外れてしまいました」

そんな状況とは
知らず王様は
眠り続けています

ええ匂い♡

おっ
高そーな
指輪

フゴッ
芳ばしい
かほりッ♡

脚も
トゥルッ
♡

しかし何で
こんなポロ布で
女装してんだべ？

きつと悪い主人に
売り飛ばされたん
じゃ…



おッおでもう
我慢できねえ
だよ...

ずるいぞ
オメー
しょう
小生も...
そんなら
ワイも
ボクチン
も



生オナホと
初キッス♡

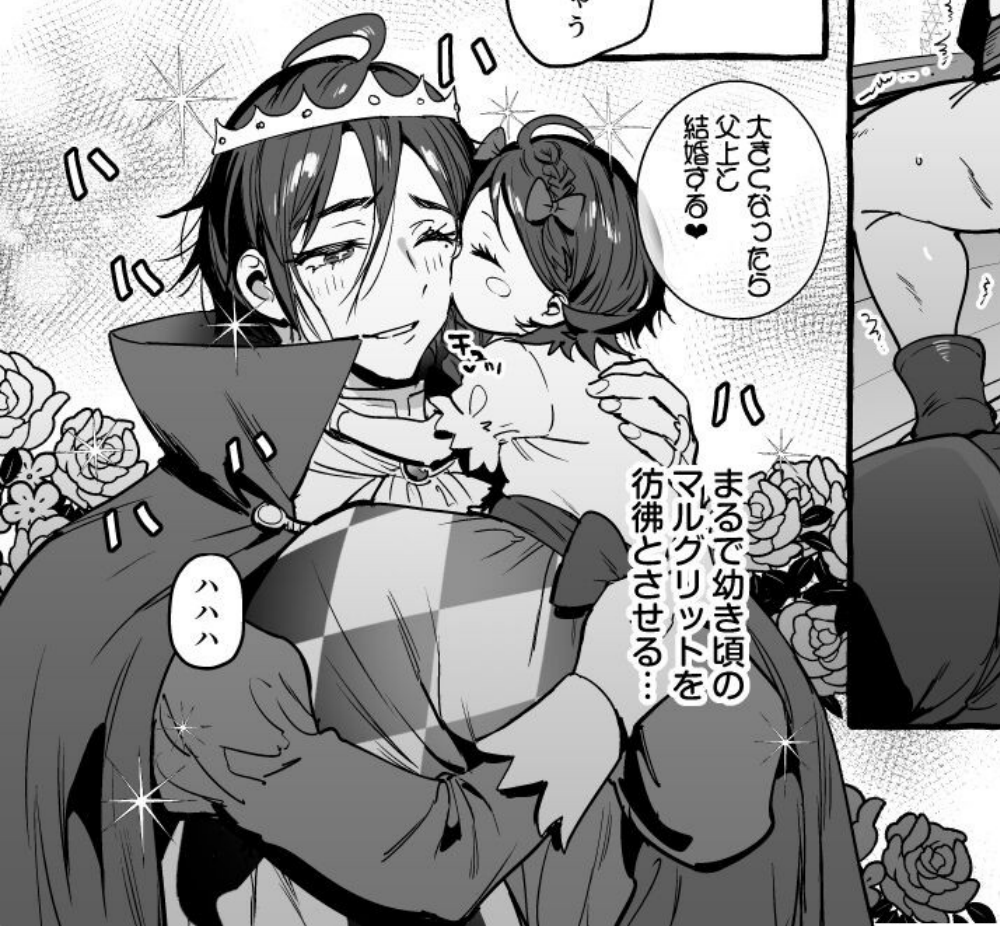
オッホッ



は...
挿入っちゃうぞ...



誰だ...
余に接吻
するのは...



大きくなったら
父と
結婚する♡

まるで幼き頃の
マルグリットを
彷彿とさせる...

ハハハ







痴れ者めらがあ...ッ♡

感じる
など...ッ♡

ぎゅ うるる







小人達は
ささやかながら
王様の為に
歓迎パーティーを
催しました

最初は少し
戸惑っていた
王様でしたが

彼らの
おおらかな人柄に
次第に打ち解けて
いきました...



何だ...??

セッ...



セッ...



フイッ



ガッ



おほッ♡



な...ッ

何をするか
無礼者...ッ

の...ノーパンで
寝る人間が
実在するなんて...



何が望みだ……



俗物共
がア……

王様は一時的にでも
この様な下賤な者に
心から感謝した事を
後悔しました



貴様……ッ
何のつもりだ
寝込みを襲う
など……!!

甘いよね王様
世の中
ギブ&テイクよ

オイラ達基本
資本主義なんで
……



下衆め……
恥を知れ!!



おお~~~~ッ
美人に睨まれると
堪らんッ♡

オイラもう
こんなに
なっちゃった



王様の処女♡



これなら王様も
気持ちよく
なれるべ♥

ビュッ

な…なぜ余が
こんな屈辱的な…

フッ

ぐ……ッ
矮人の分際で
見事な逸物…

!?

あ イイ事
考えた♪



王様ちゃんぽも
綺麗な形
してるなあ
おッだんだん
膨張してきた
べ♥

太すぎて…
余の口に収まり
きらぬ…ッ

グッ
グッ
グッ



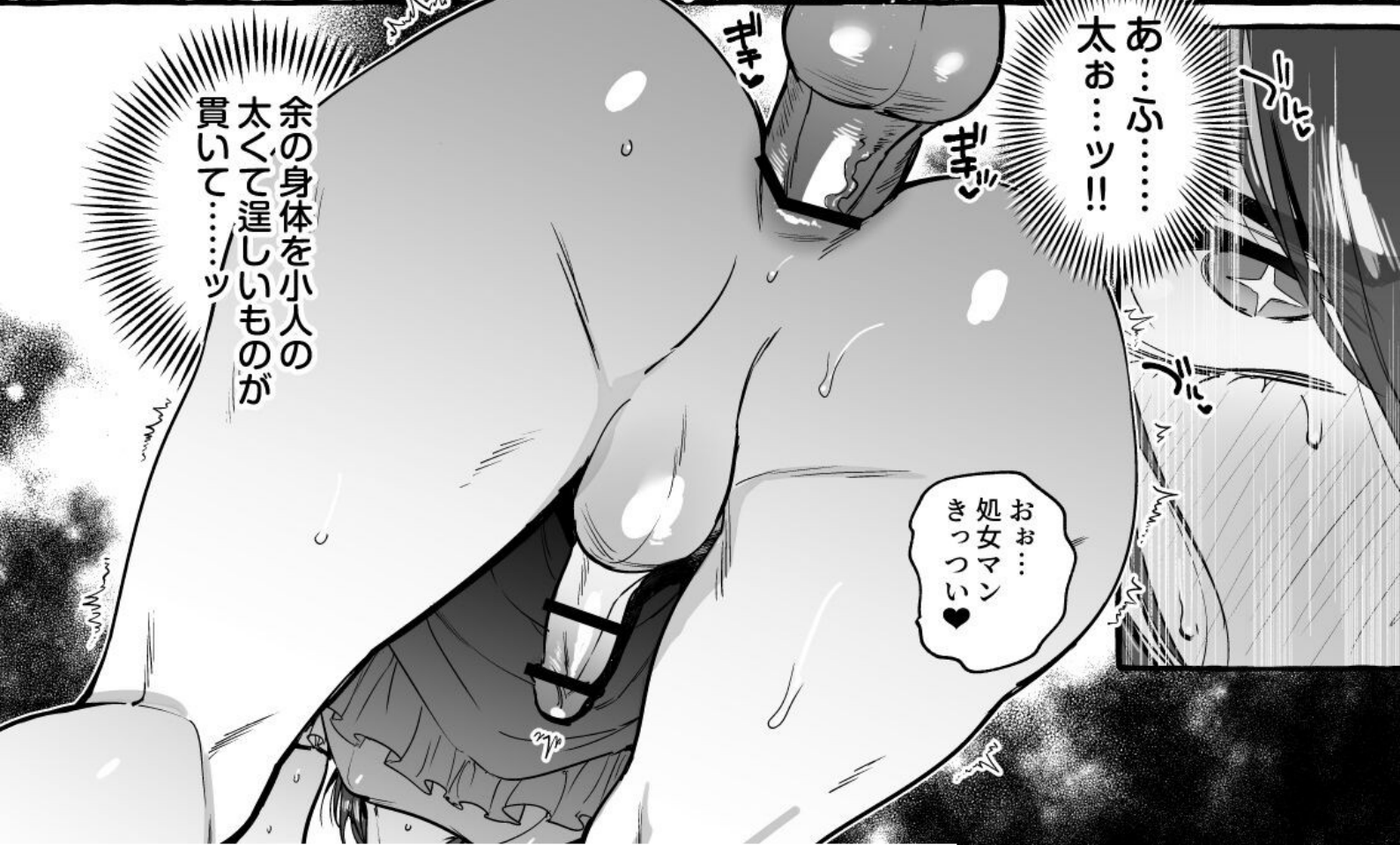
王様の処女
一番乗り♡

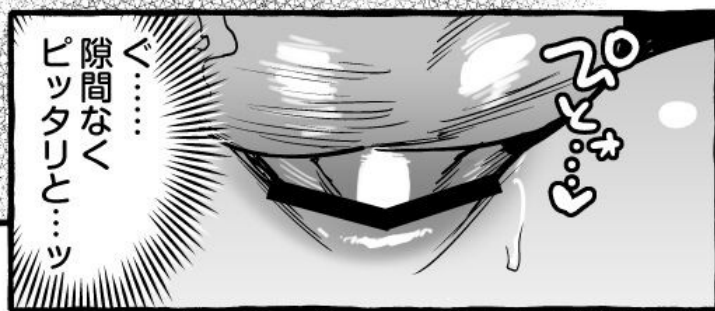
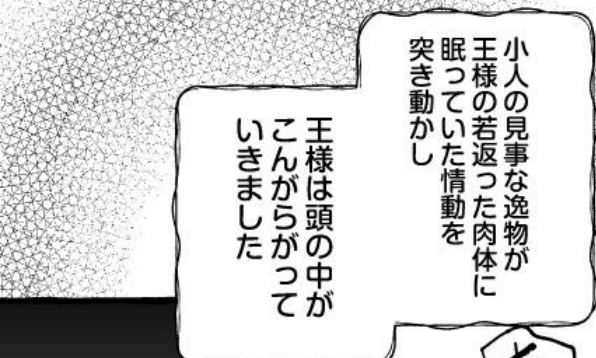


あ…ふ…
太お…ツ!!

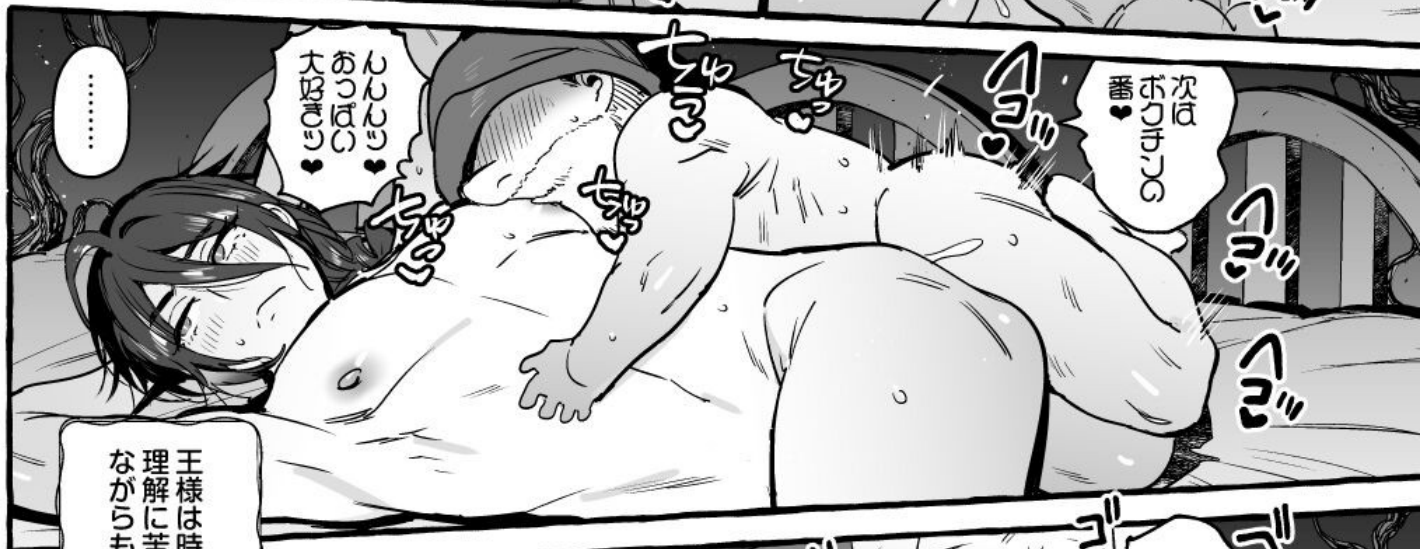
余の身体を小人の
太くて逞しいものが
貫いて……ッ

おお…
処女マン
きつつい♡





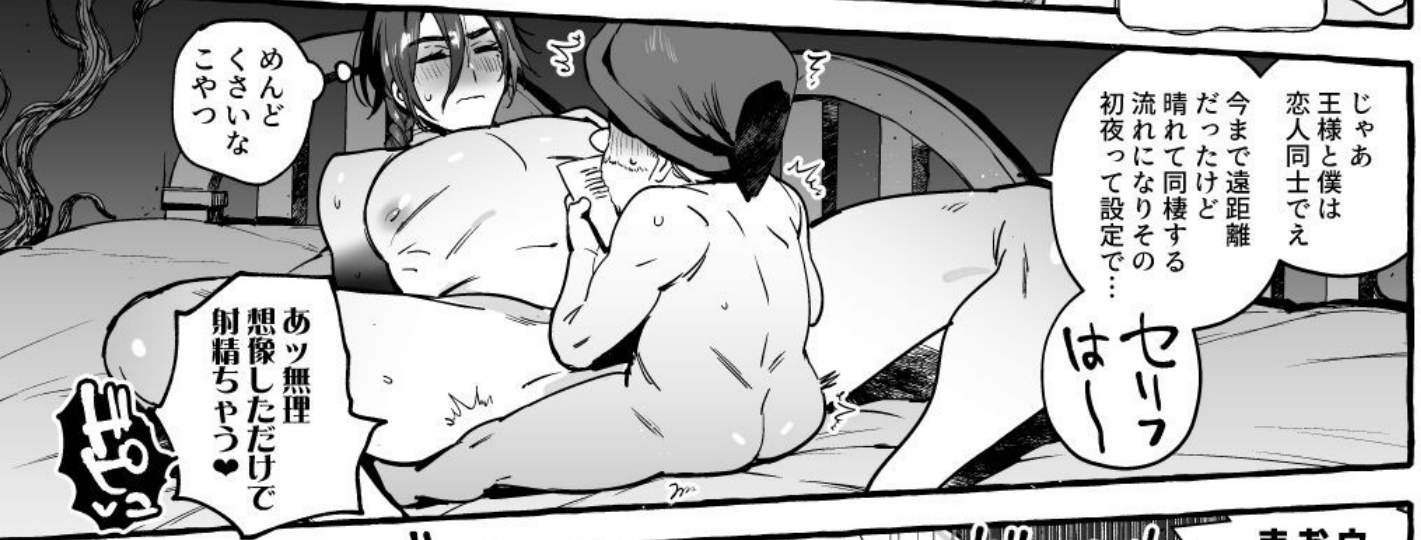






小人達の
初体験を
済ませて
あげました…

あ~~~~
もうちよつとじゃ
もうちよつとで
淫樂が見えるんじゃ



じゃあ
王様と僕は
恋人同士でえ
今まで遠距離
だったけど
晴れて同棲する
流れになりその
初夜って設定で…

セリフ
はい

めんど
くさいな
こやつ

あッ無理
想像しただけで
射精ちやう♡



ウオオツ
おでツ
まだイグツ♡

イグツ♡
出るツ♡

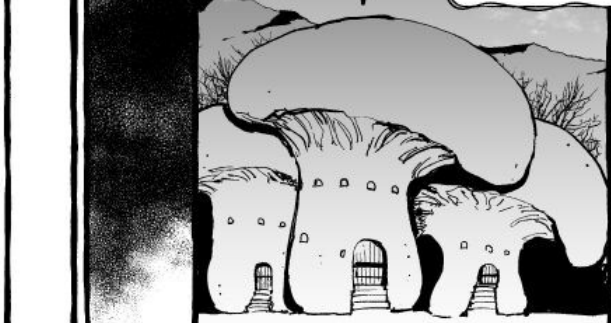
あッ
ぐツ♡
はげし♡

おでの
精子で
孕めツ♡



それからと言うものの
王様は毎日子作りに
励みました

…とは言っても
専ら自分が
種付けされる
側でしたが…





王様の決心が
揺るがない事を
知った小人達は
悲しみを抑えつつも
特製デザートを
振る舞う事にしました



小生アレ
もってこい!!
とっておきだ

デユフ…
了解

今宵は
宴じゃあ



家庭持ちは
しょうが
ねーや…
王様がそう
言うなら…
そいつあ…
寂しく
なるな…
いつかこんな
日が来ると
思ってたん
じゃ…
オイラ
ちよつと
泣きそう

余がこれまで
食した中で一番
美味であるぞ!

これには
王様も
ニッコリです

コオ

気のせいかな…
視界も歪んで…

あ…れ…

おにゃい





常人であれば身体に
触れられただけで
たちまち絶頂して
しまうでしょう

形クッキリ
でやらしい
なあ♡

自分らでは
滅多に使わん
からの♡

さ…触るな
…あッ♡

触るな♡

触れられた所
全部…

燃える様に
熱い……ッ♡

んっ♡王様の
腋マンコッ♡

う…ん…♡

王様の竿
ギンギン
だべや♡



おほ♡王様の
メスイキ♡

……ッッ
イッてる…♡

触れられた
だけなのに
……ッ

…もし…
こんな状態で
挿入されたら…

どうなって
しまうのだ—

ズ…♡

やっ



おは!!

おは!!

一突き
される毎に
イツてるッ

おは!!

おは!!

まだ...

イツてる
からあ

おは!!

おは!!

えへ
おっばい

おは!!

おは!!

おは!!

おは!!

おは!!



はっ

駄目だ...
もう...

はっ

はっ

はっ

も...もっと
突き上げて♡

ちんぽで糸を
楽しませよ♡

こやつらの
逸物の事しか
考えられぬ♡

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ

はっ

余と
貴様達だけの
楽園を

王様あもう
射精するよ♡

はっ

この世界のどこに
快楽を簡単に
手放せる者が
いるでしょうか

はっ
おはっ
はっ

はっ

王様ずっと
イキっぱなし♡

はっ
はっ
はっ

薬の効果も相まって
彼らから与えられる
無償の愛の大きさに
感動すら覚えました

はっ
はっ
はっ

な…何だあの
神をも恐れぬ
破廉恥な
連中は……

父上……

申し上げます
マルグリット様

島全体を
調査して
参りましたが

この島には矮人七名と
淫蕩に耽っている
恥知らずな人間が一名
暮らしているだけで
他の者は見当たりません

ザザーン

残念ですが
陛下はこの島にも
おられないかと

そうか……
もう良い

何処に……

帆を上げよ
出航する

こうして
マルグリットは
去ってしまっ
ましたが……

王様と野郎共は
いつまでも幸せに
暮らしましたとさ

おしまい